

化石からのメッセージを考える ～天草の土地を～

上天草市立登立小学校 6年 山下 美桜子

1 研究の動機

6年生の教科書に「化石のひとりごと」がのっていた。化石からいろいろなことを考えることができるのだと思った。また、私の住んでいる天草は、化石がたくさんとれるところがたくさんあると知り、化石から天草の土地について考えようと思いこのテーマにした。

2 研究の方法・内容

- (1) 方法1 天草のどこでどのような化石がとれるのかを調べる。
- (2) 方法2 とれた化石から大昔の環境について考える。

3 研究の結果と結果からわかったことと考えたこと

- (1) 方法1の結果 ※写真省略

とった場所 上天草龍ヶ岳町

とれた化石 イノセラムス 二枚貝の仲間 他

気づき 海岸の転石をよく見ながらさがした。黒い石がたくさんあるけどその中に少し鉄がさびたような色がある石に化石が見つかることが多かった。

※ 他に 姫戸町 松島町 内容省略

- (2) 方法2の結果 ※写真省略

河浦町のサンドパイプと龍ヶ岳町のサンドパイプを比較しながら、メッセージを考える。

河浦町 地層の重なりに対して、垂直にサンドパイプがあった。縦に穴を掘って生活する生きものの化石だと考えた。

龍ヶ岳町 地層の重なりに対して平行にサンドパイプがあった。地面をはって生活する生きものの化石だと考えた。

天草でとれる化石からメッセージを考えた。※写真地図等省略

地図で化石が見つかった場所と見つかった化石について調べた。姫戸町、龍ヶ岳町、天草町の化石が同じ時代だということがわかった。また、松島町、河浦町、牛深町の化石が同じ時代だということがわかった。

4 結果からの考察

化石を発見してみて思ったことは、同じような岩の中に化石が見つかるということである。化石そのものではなくどんな岩に化石があるのかをしらべてもそこにメッセージがあると思った。

天草の化石を調べてみるとだいたい2つの時代に分かれていた。その化石が見つかる場所を線でつないでみて大昔のことを考えることができた。

以下省略